

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:

事業所名: 放課後等デイサービス 放課後等デイサービス とこと弘明
寺教室

対象人数(保護者)30人 回答者数 16人 回収 53.3%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	① こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	2		
	② 職員の配置数は適切であると思いますか。	16			
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	2		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			
適切な 支援の 提供	⑤ こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1		
	⑥ 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			
	⑦ こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	16			
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16			
	⑩ 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16			
	⑪ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	6	3	
保護者 への 説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16			
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16			
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2		
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	16			
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2		
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	6	3	
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2		
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1		
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	2		
	㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2		
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		
	㉖	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1		
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1		
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	2		
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	16			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス とことこ弘明寺教室		公表日		2025 年 5 月 28 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	相談室や野外活動を行いながら個々のスペースを確保できるようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		適切だがドライバーがの人数が増やしたほうがよい日もある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%		事業所がエレベーターがなく、3階まで階段。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃と空気清浄機とサーキュレーターを使用し、空気を循環している。 エアコンフィルターの清掃も行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	毎朝の朝礼時にKPTシートを使用し、前日の良かった点、課題点、改善点を共有し、支援に取り組んでいる。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	0%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	毎月様々なテーマの研修が行い資質向上が図られている。自身の考えがなかった意見を知り、学びになっている。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントを行い、計画書を作成し、個別活動・集団活動に取り組んでいる。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	子どもの情報共有を行う中で、職員間で計画の協議と確認を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	個別チャレンジなどの活動時間では計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83%	17%			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	一週間のテーマの中で、内容を工夫して取り組んでいる。新たな集団活動の立案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	朝礼時に前日の振り替えと当日の内容、担当等を確認し、事前準備している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	支援終了後に引継ぎ簿から振り返りと共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	当日の業務日誌に一人ひとりの記録を取り、共有と振り返りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	議事録を印刷し、職員間でいつでも確認できるようにファイルにしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	子どもたちが活動前にイメージできるように、説明とイラストを掲示するなど、自己決定が行えるように取り組んでいる。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	67%	17%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	送迎時に教員と下校時間、お迎え場所、行事の確認をこまめに行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	17%	83%		就学後に学校やキッズとの情報共有は行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	17%		移行するご利用者さまはいなかったが、就労支援先の見学に伺っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	運動活動や下校時間が早い時は、地域の公園や区のログハウス等に向かい一緒に活動を行うなど交流の機会を行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	33%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時やモニタリング、HUG等で保護者との共有と共通理解を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	33%	50%		ご相談があった際は情報提供を行っているが、研修等の機会はできていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	保護者参観や送迎時、連絡アプリ等でお話を伺う機会を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	67%	33%	長期休み時に保護者参観を開催し、保護者や兄弟の方の参加の機会を行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	送迎表や個人宛の手紙など封筒や袋に入れるなどダブルチェックを行いながら間違え、紛失の内容に取り組んでいる。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	流れのフローチャート表や1日の予定表を印刷し、個々に合った方法を取り入れている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	50%	50%		現在、法人内で企画中のため、今後、招待していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	活動予定に避難訓練等を行い取り組み、年度末に活動報告を行った。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPの研修を行い、災害時の備蓄や役割を確認を職員間で共有を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	保護者との確認と利用時にはおやつやのダブルチェック、提供間違えがないように子袋に入れ、一緒に確認してから提供している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	他教室の情報共有を行い、自教室の対策に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	年に2回、虐待・身体拘束研修を行い、未然に防ぐための行動や対策を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス とこと弘明寺教室		
○保護者評価実施期間	2025年 5月 6日 ～ 2025年 5月 16日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 5月 6日 ～ 2025年 5月 16日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に沿った活動時間に取り組み、目標が近い少人数グループに別れ、支援を行っている。活動後は記録を取り、共有を行っている。	日々の情報共有、支援教材の準備や職員間での意見交換を行いながら、ねらいや一人ひとりの個別支援計画書の確認を職員が行い取り組んでいる。	利用者さまの成長過程を把握するとともに、職員のスキルも必要になるため、研修や発達過程を学ぶ機会と職員間、保護者、学校等との情報共有を行ってきたい。
2	1週間通しての集団活動のテーマを計画し、週に1回の利用者さまもテーマの活動に取り組めるように計画している。同じテーマの中でも内容を変えながら、複数回利用の利用者さまの取り組む意欲を大切に計画している。	1週間のテーマの中でも職員同士の情報共有を行いながら、アイデアや意見交換を行っている。ホワイトボードには活動の内容とイラストを掲示し利用者がイメージや導入しやすいように行っている。	次週の予定表や1ヶ月の予定表などを教室や車内などに掲示することで、先の予定の見通しや楽しみ、意欲に繋げられるようにする。
3	駅に近い事業所のため、商店街を活用した生活訓練の買い物や交通ルールを学び、外出イベントでは観光スポットを企画し、学びの場を行っている。	立地を生かし観光スポットの情報集をこまめに行っている。近隣が商店街のため、毎週お花屋さんにお花を受け取りに通い地域交流を行っている。	保護者さま、利用者さまのニーズや利用者さまたちで話し合い、考え、企画するなど主体性を取り入れた活動を行ってきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動や下校時間が早い時は近隣の公園やログハウスなどに出向き、近隣の子どもたちとの活動を行っていることへの認知度が低い。	連絡アプリを活用し、当日の記録を行ったり、送迎時に交流したことへのお伝えが弱かった。	季節や天候を見ながら、近隣の公園などに出向く機会を増やし、連絡アプリや送迎時のお伝え、SNSの発信など周知に向けて取り組む。
2	保護者参観を長期休みに企画をしているが、保護者参観中の保護者同士の交流する為の教室からのきっかけ作りが必要と思われる。	職員が活動や進行に注力していることが多くなってしまっている。	保護者参観内で保護同士の交流の機会の時間を作り、保護者同士の繋がりを広げられるように取り組む。
3			